



都市と田園が画然としたヴァッサーブルグ ドイツ・ミュンヘン近郊



大正期 欧米の穀物相場を左右した歴史的な運河の街 小樽



明治期 東西文明の十字路口と称された国際的な街 函館



江戸期 海外との窓口の機能を果たした街 長崎

伴 日本はアメリカとか東南アジアと比べて、スラムとか危険なところが少ない。佃でも整然ときれいに住んでおられますよ。地震災害に対して最低限の安全は確保する必要はあると思いますが、治安という意味では、日本は世界一安全でした。しかし、ちょっと状況が変わってきています。若い女性が一人で歩けない、年寄りの家が襲われるとか治安の問題が大きくなってきているので、これもまちづくりでは大事なテーマになりつつあります。

三田 どのように改善しようとなさっているんですか。

伴 オフィスや住宅に構造的に侵入できないようにする、警報装置などのハード面の手当てをまずする。

三田 啓発や情報が大切ですよ。ね。

伴 おっしゃる通り、実はソフト対策がより重要ですね。昔は近所付き合いをきちんとかやっていた、異変に対してお互い

再生を編みだして皆さんに見ていただくのがいいでしょう。それにしてもプロデューサー役はなかなか地味な仕事です。縁の下の力持ちなんです。我々のやっている仕事が一般の皆さんに見えにくいのです。

三田 見えないとだめなんです。見えるようにやっていたらだかなく。

伴 実力をつけて実績を積み上げ、実例を豊富に示さなければと思います。我々の組織は絶えず存在意義を問われていますから。

三田 それにはやっぱりおやりになつて、説明責任というのがありません。郵政の問題でもそうですが、民営化すればいいんです。具体的には、民間化すればいいんです。多少の痛みがあってもあとで報われると喜んでくださればいい、言わないと疑われちゃうから堂々とやっていただきたいのです。



明治期に建設された赤レンガ倉庫 内部はモダンな空間に改修 横浜



破風の外観が特徴の歌舞伎座 建替えが検討されている 東銀座



弘前城址燈籠まつり 二百基の武者絵の入った燈籠やかまくらが並ぶ 弘前



弘前郷土文学館 明治期建築の旧市立図書館 弘前

に気をつけようという暗黙の約束事がありました。今はコミュニケーションが壊れていきます。近所の目がとどくよう、挨拶したり情報交換したりという近所づきあいの基本が大事になってきました。

三田 「こんにち」って言える人をつくらせておく事ですね。特に集合住宅ではね。この前犬を散歩に思ったら夜12時頃で犬が乗れるエレベーターが点検中だったんです。違反かもしれないけど犬の乗れないエレベーターに夜だからいいかなと思つたらそれも止まっていきました。あとは階段を下りていくしかなかったです。これが災害だったらと思うと恐ろしいと思いました。足が悪い人とかお年寄とかは

三田 便利に使つてるときは感じないけど、いざ停電とか断水になると集合住宅は大変です。日頃のソフト面の工夫や努力が重要でしょうね。ところでアメリカに住まわれたとか。

伴 自作自演だと疑われちゃうから（笑）。上手に誰か第三者の方に言っていたらいいのも大事なんですよ。三田 日本橋のこともいつだったか、日本橋保存会の人たちと鼎談した時に、自然な思いとして、「高速道路をとって欲しい」と口走つたら（笑）、それが活字になって急に機運が高まつたって聞きました。

三田 国土交通大臣時代の扇参議院議長が、高速道路橋を取り除いた完成予想図を示しながらどんどん進めるべきだと言つておられましたよ。日本橋の話は出来れば芝居か映画にしたいだけではないです。公共事業は不要だとか言われてますが、環境や景観の修復型の公共事業の見本としてやれば良いと思います。

三田 ええ、「日本橋物語」パート3は、日本橋を素材にしてお話を語り、日本橋の認識を高めるといふ、みなさんの声があつてやることになつたんです。私たちが芝居をやる、都市機構は事業の環境を整えていただく、それぞれが別々にやるのではなくて、総合的にやる時代だと思えます。

三田 サンフランシスコに1ヶ月ほど住んで、そこを拠点にあちこち旅行しました。学んだことは地球の一点だけを見てあくせく考えるのではなく、ひろく全体を見ようという意識が生まれたことですね。都市のなかに建物がどんどん建っていくますが、世界的にみるとロッキーマウンテンとか草原とか海とか、どうにも建物が建てられないところがある、だから全体として地球が保たれているんだと思いた。都市をつくらせていく上でも何も建てない場所、そういう空間を残すことも大切なことだと思つてます。

三田 人口は減少傾向ですよ。住まいも質はまだですが量的には充足している状態です。これから山林を切り開いて宅地化してということはない。宅地化するつもりで購入してあつた機構の土地も、そのまま地元へ渡して地元で使つていただくところも出てきてます。

三田 広い土地があつて緑だけの空間が

伴 そこにもプロデューサーが必要ですね。陰の役割ですが、時には表に出てでもやらなくてはいいけないです。三田 考えてみると今知事さんの時代です。やはりアピールの強い知事さんが、どんどん評価されてきました。

三田 やつていてることをキチンと見せていただくUR都市機構は税金を無駄に使つてない認識されます。すごく大事なことです。

三田 外国の方が来たときどう感じるか、生活の匂いがする、活気がある。蜜を求めるといふ人が集まる街ですね。蜜は自然であつたり歴史であつたりで、京都や奈良もいいですが、外国と交流があつた函館とか長崎、神戸にいつも新しいものが生まれました。「いのち」というテレビドラマの口で1年間通つた津軽の弘前もいい街ですね。りんごの花のきれいな時期とか豪雪でしばらくの冬とか、四季こもこもというこぼれがびつたり街です。

三田 他にはない特色があるというのが、なによりも大切ということでしょうか。なかでもやっぱり原点に戻つて歴史ですかね。外国に行くとき昔ここにビルがあつたと壁だけ残つていたり、線だけ引いてあ

あるから、住まいや集落も支えあうことができます。森林を壊されると災害の原因にもなりますね。

三田 町村合併がありましたね。3300あった市町村が1800になる、そうすると3・4ヶ所あつた街の中心も1ヶ所に収斂して行く。

三田 全体を見ていい方向へという都市機構の考え方を、住んでいる人たちに知つていただくことが前提でしょうね。強制的ではなく。

市民としての発信 公的機関としての発信

三田 全体を見ていい方向へという都市機構の考え方を、住んでいる人たちに知つていただくことが前提でしょうね。強制的ではなく。